



號八二三第・日五月七輯編局報情

札立の時

いま
同じ地果實盡く
安隊人は死闘する



眞實
週報

勝之勝之勝之

號八二三第・日五月七輯編局報情

週報寫真

札立の時



いま
同じ地果實を喰ふに
女隊は死を待てる

勝つ勝つ勝つ



航空戦を激化する

四月十二機以上を撃墜する戦果を挙げた。また帝國陸海軍航空部隊は四月中に敵に約七百機の損害を與へ、五月中には更にその戦果を増大して、約九百機の損害を與へてゐる。

なほ、支那方面のわが航空部隊は、連日地上作戦に協力すると共に、在支米空軍部隊に活躍し、六月一日より十二日までには飛行機三十一機（内不確実九機）失上五十四機、撃墜六十八機、合計百四十三機の損害を加へてゐる。

これらは既に報告されたところであるが、この航空作戦の大戦果は河南及び長沙作戦における地上作戦の戦果と共に、特筆大記されねばならぬものである。

敵機ミラツは「我々の太平洋作戦終局の目的は支那大陸に上陸することである」といひ、また東北方にも基地を占めたい考へからロッチ（上級議員）は「我々は北方に基地を有することにより百万人の人命の犠牲を減し得るであらう」といつてゐるが、これ等は其の航空基地を先づ我が本土近くにもめよとする敵の意圖の一端を暴露してゐるとみられる。

この視點からビルマにおける敵の反攻企圖を検討すると、敵が躍起となつて呼吸してゐるビルマ奪還の主要は、先づこれによつて、レド公路を打通することにある。

レド公路といふのは、東部印度における重要鐵道アッサム・ベンガル鐵道の北北西終點に近いチンスタフ附近から、敵れた支線の終點レドを發着點として、北緯アライオン地區を貫き、マインカンからモゴリン、ミートキーナに出で、騰越、保山を経て雲南に至らんとするものであるが、騰越附近がわが軍の強力な陣地である關係上、ミートキーナから東北方約五十キロのヒョウからヒョウを経て保山に至らんとする道も考へてゐるやうである。

皇軍のビルマ占領以來、例のビルマ公路はわが方の制するところとなり、亦、對する有効な輸血路は空路を除くはか作無となつた。この對支米空路はチンスタフから昆明を経て重慶に至るものである。

勿論この空路だけでは支那の軍力強化を全うし得ないばかりでなく、在支米空軍の所須物資を充足し得ないので、將は聲を大にしてレド公路開闢の急を叫び、米國は何とかして地上よりする補給路の打開を催つたわけである。殊に最近に至つては重慶空軍の主力といふものは悉く米國司令官ノートの指揮下にあり、飛行場の設定さへ米國が自らやるといふ態である。その機數も六百機以上に



なつてゐるといはれてゐる状況から思へば、米國としては、一日も早くレド公路を開き、在支米空軍を強化擴張しようとしたことは首肯のできることである。

即ちレド公路の打通によつて支那大陸にまづ航空基地を

ワント・バフアンはスチルウエルの軍を指揮してゐる。アウツト・バフアンと名んで更にイー・レックといふ男はインドの直接防衛に當つてゐる。即ち

東部印度軍
アウツト・バフアン
スチルウエル
オ・ヒン・レック・印度防衛軍



六月十六日午前二時、支那方面よりB24 B24二十機内外は北九州に飛来し、また南部朝鮮にも飛来して来た我が航空部隊は果敢にこれを迎撃、撃墜七機、撃墜三機といふ見事な戦果を挙げた。しかも撃墜機中には敵機が燃焼しちねとつたB24も入つてゐり、その撃墜を北九州に報したのである。敵機の飛来した地方の人達も慌て中絶が本年訓練の程度をみせて、流石は神州大民族なりとの感を一様に與へ、まことに意を強くした次第である。しかし遂に敵は支那本土を基地として襲撃の如く我が本土を空襲し來つた。

また六月十五日には敵部隊がサイパンに上陸を企圖し來り、我が軍は前後二回これを水際で撃退したが、同日正午頃、三度飛来し來つて目下我が軍はこれと激戦中である。

この様相を観察するに、敵が我が本土に對し漸次その航空基地を進めて來ようとする意圖がいよいよ明瞭に看取せられるものである。

今次大東亞戦争において、航空作戦が有つ意義の重大なことは、既に各方面の状況に現れてゐる如く今更なる言を要しない。

従つてこれまでは、重要都市の確保争奪などの作戦意義が重要視されてゐたが、現在では、勿論その作戦目的によつても異なつてゐるが、これら要地の確保争奪が重要であると共に、航空基地の確保争奪、並びに敵航空基地の確保が重要な意味をもつて來てゐる。

支那方面のわが陸軍航空部隊は五月十二日戦爆連合の大編隊で、三次に亘つて在支米空軍の重要航空基地、雲南飛行場を攻撃して所在の敵空軍に徹底的的打撃を加へ、撃墜敵機七機、撃墜炎上大型機十二機以上、小型機十六機以上合計四十五機以上の撃墜なる戦果を挙げた。次いで五月二十九日、三十日の兩日には、騰越、保山の敵飛行場を襲撃し、大型機二十機以上、小

隊は全面的に支那大陸を對日反攻の足場としよると考へてゐるとみられる。

だが、敵のビルマ奪回企圖は昨年の乾季まづ失敗に歸し、今年の乾季も彼等の欲するが如き成果をみることなく終つてゐる。

しかも、レド公路を打通して、大陸戦線の輸血路にせんとする狙ひは、米將領と英側とは必ずしもその熱意が同様とはみられないものがある。即ち前述の理由からしてレド公路打通は米國と英側とは極めて重大なる意義があるが、英側は例の自己保全主義のやり方から、何といつてもインド防衛が主眼なのである。即ち英側にとっては印緬の作戦はレド公路の問題よりもインドを如何にして守らうかといふのが第一になつてゐる。

今こゝで印緬作戦における敵軍をみると、車では怒江を挟んで去秋陳武に代つて衛兵隊が雲南遠征軍を指揮して我が機群の陣に對してゐる。そしてこの雲南遠征軍はスチルウエルの率軍と密接に協力してゐる。北部では暹羅國の指揮する在印陸軍軍なる新編第一二二ヶ師がアライオン地區にゐるのであるが、これはその編隊編成に米式で、教育訓練もまた米軍から受けてゐて、従来の重慶軍に見受けられない強味を有つとせられ、この軍は米將スチルウエルの指揮下にある。スチルウエルはこれのほかに米英協成の約二ヶ集團を指揮してゐる。インパール附近からアチドン、モンドウ正面にある軍は英印軍であるが、これはワント・バフアンの直接指揮下にある。そしてマ

しかるに先きに述べたレド公路開闢の戦果に關する米將領と英側との對立は、例へば敵はレド公路開闢し、最も重要とされてゐるミートキーナに對し非常な無理をし、空挺部隊を送り、または北方から車隊を投擲させたのであるが、これに對する英中隊に對して英側は種々な口實を設け、必ずしも熱心ではない。

これを要するに近代戦において航空作戦のもつ意義は特に大きい。これが國內においても空襲攻撃行動が叫ばれてゐる所以であり、さらにこれと共に航空機を飛ばせる基地、所謂航空基地が極めて重要な意味を有つて登場して來てゐるのである。今や敵は何とかしてこの基地をわが本土に對し近づけようとし、しかもその努力は或る程度成功してゐる。即ち支那大陸を基地として既に今回の空襲があり、また東北方アック、キスカ附近は既に大規模に飛べるやうになつて、同方面からわが本土空襲は可能となつた。

今やもう本土は戰場となつた。しかもこれからの敵の空襲は必ずしも北九州に對するが如き小規模のものではなからう。あれはほんとに敵の小手調べとみてよからう。我々一億同胞ますます不運の決意を固めて、以て敵の本格的空襲に備ふべきである。

大本營陸軍報道部

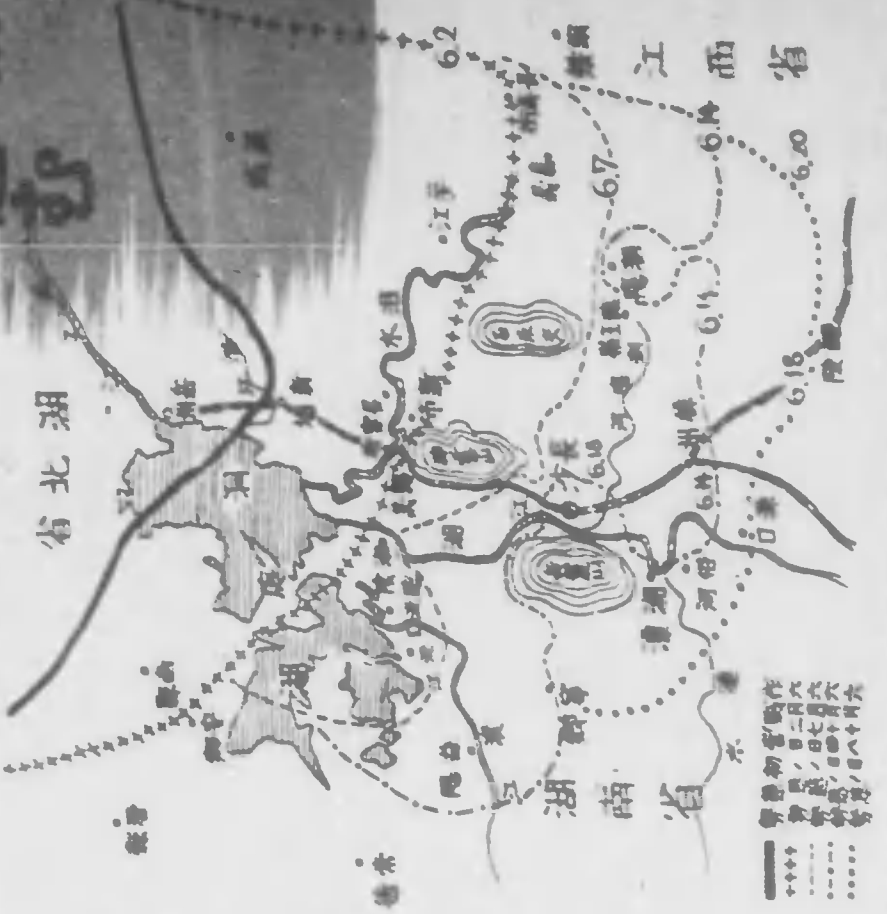


大陸作戦 急速に進む

支那大陸に作戦の卓車
情勢は、まさに北支河南
作戦において、重慶第二戦
区に徹底的な打撃を加へた
が、引続き五月下旬中支
方面洞庭湖南湖備地区から
開始された敵第六戦区及
び第九戦区に対する連攻
作戦、いはゆる湖南作戦
においては、行動開始以
來僅か二旬で約十五師
の敵兵力に徹底的打撃を
與へ、六月十八日には湖
南の要衝長沙を三度攻略、益陽、鄂陽、澧陽等
を相次いで手中に収めると共に、今や在支米空
軍の最大前進基地衡陽を指呼の間に見守る程進
撃中である。

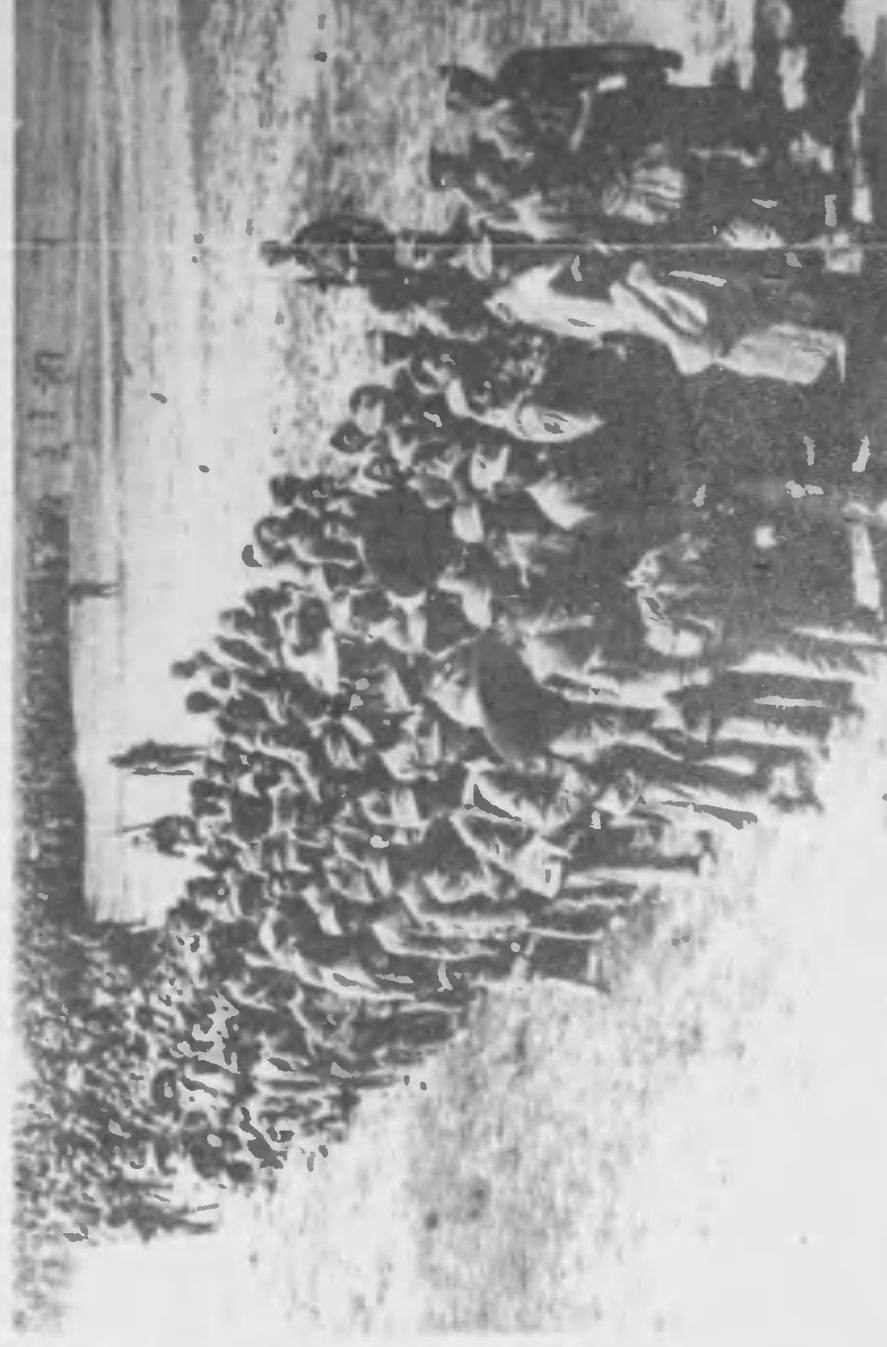
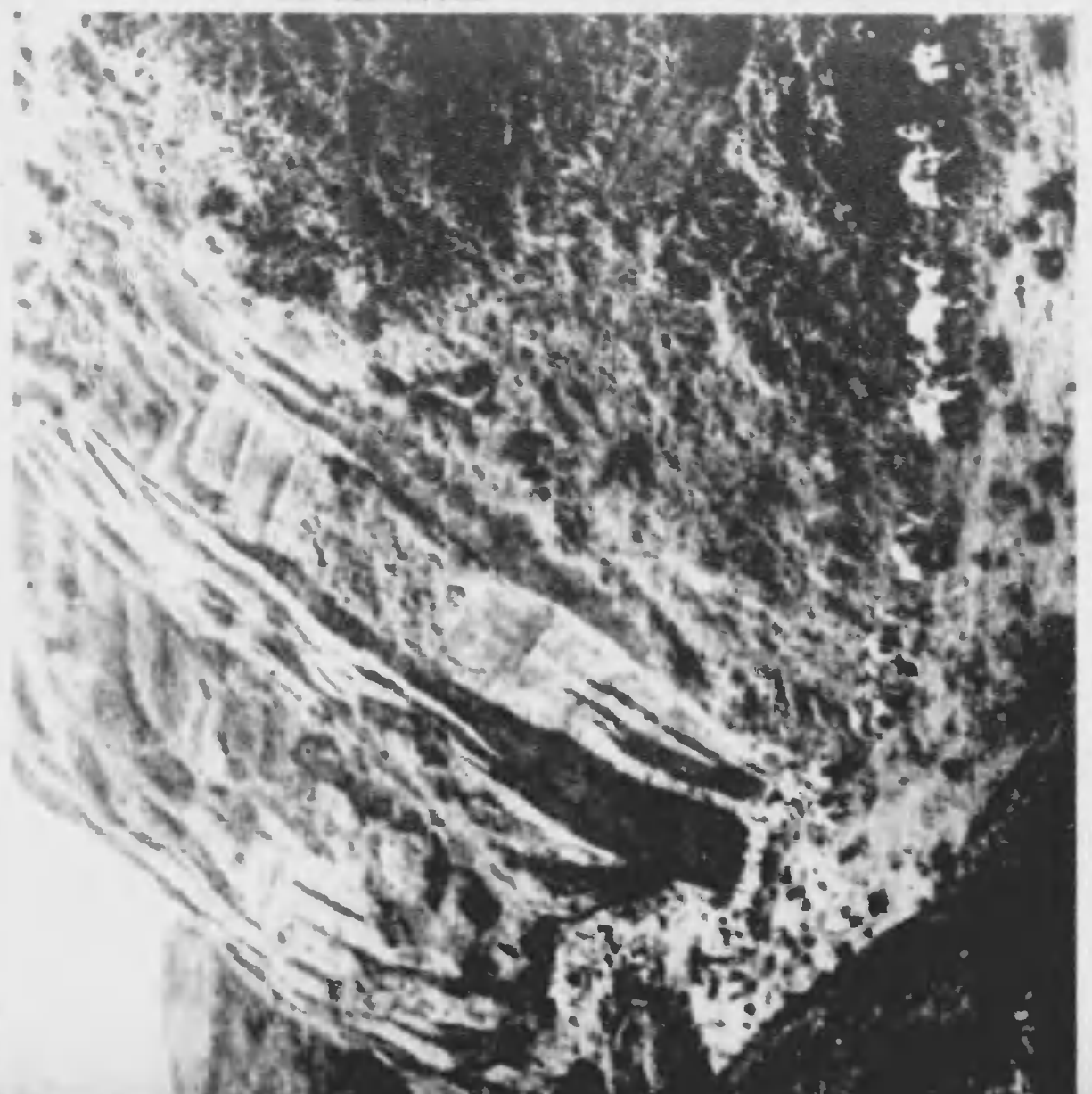
まさに神速軍勢、大陸を席捲しつつあるわが
陸軍の擴大に、軍機政權が躍る物心陣頭の軍大

在支米空軍軍機に勇躍出陣せんとするわが陸軍の
要衝——湖南戦線〇〇基地



な影響はいふまでもないが、重慶をあくまで、
抗日の第一線に立たせ、最終においては支那大
陸を對日總反攻の基地ならしめんと企圖する敵
米英に與へた損害は更に大きく、今やわが作戦
の急展開と共に、敵は非常な動搖を示してゐる

〇〇部隊——
〇〇部隊——
〇〇部隊——



週間點描

ライオンをめぐる戦局の先途は激烈砲撃の
炎をたどるのみ。これを今週の本誌發表によ
つてみれば、

一、大本營發表(昭和十九年六月二十日十六時四十分)
ライオン島に到着する敵艦は六月十五日午後四時の一
隻に増勢多する五隻に増強され、我軍は奮勇に射撃中にして、
我が守備部隊は多大の損害を蒙り、多大の損害を蒙つ
た。

二、大本營發表(昭和十九年六月二十三日十五時三十
分)我が守備部隊は六月十九日マリアナ群島の
西方海面に我々三隻よりなる機動部隊を編成、先
頭攻撃を行ひ、敵艦隊は二十日に及びその追撃隊
空母艦隊五隻以上を撃沈、敵艦二百餘隻
以上を撃破した。

以上を撃破するも徹底的打撃を與ふるに當らず、わが
方敵艦隊は、湘南岳陽、益陽及び飛行機五十機
以上を失へり

以上の如くその血戦は相目とともに激烈を極
め、正に開戦以來の最大の重大戦局となつてき
たのである

われら前線勇士の死闘に應へて、又各自の戰
場に死闘するを誓はら



戦力蓄積

戦力を蓄へよう。われらの血と汗、そして神州の
 生気が凝って戦力となり、敵の頭上に炸裂する日
 の壯絶さを思はう
 攻勢移轉の戦機は熟した。われらの昂まりつ、あ
 る戦力を以て、敵の非望を粉碎しようではないか
 さあ今だ、一億の力を結集して戦力を積まう

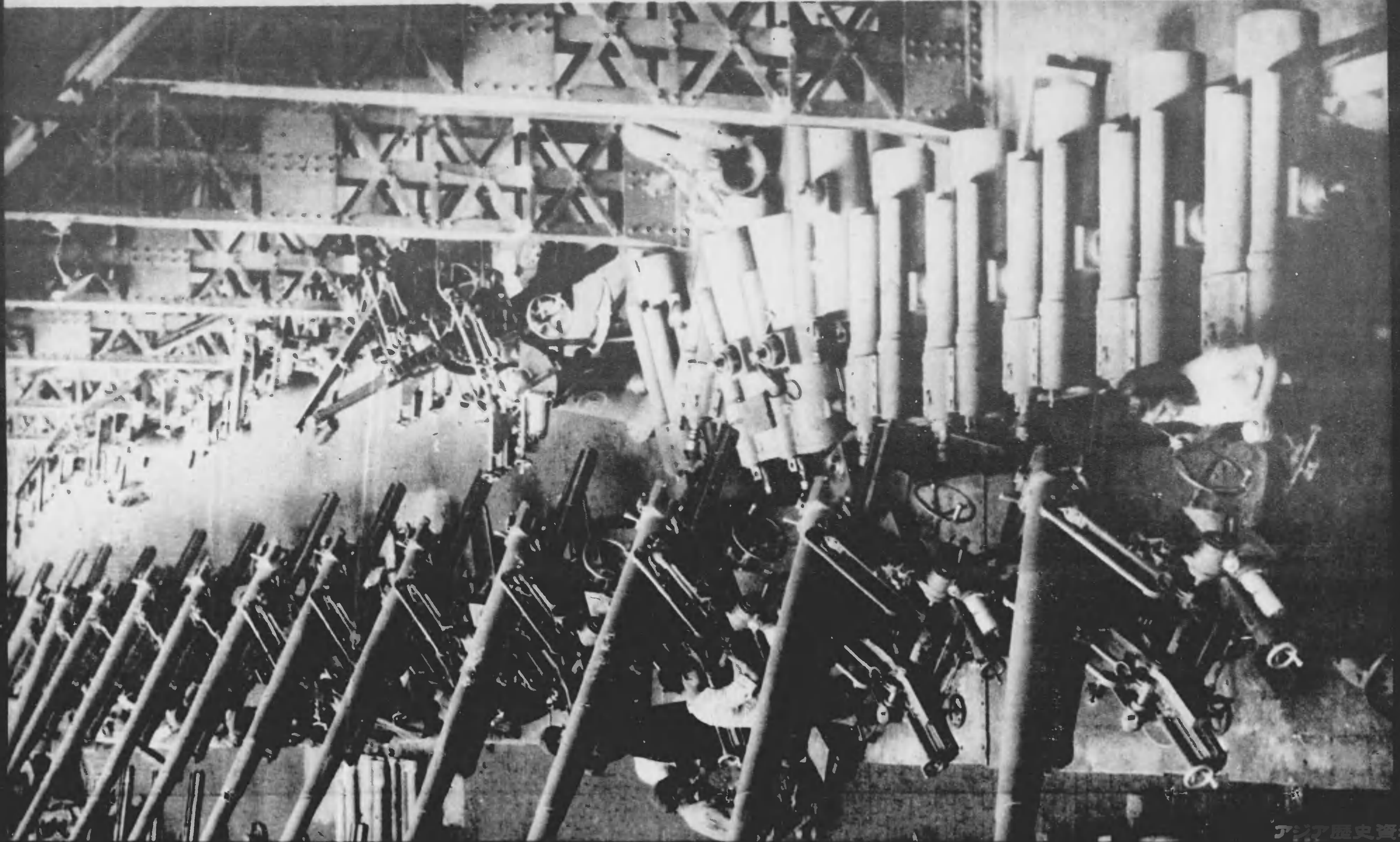
火砲は 續々前線に 送られる

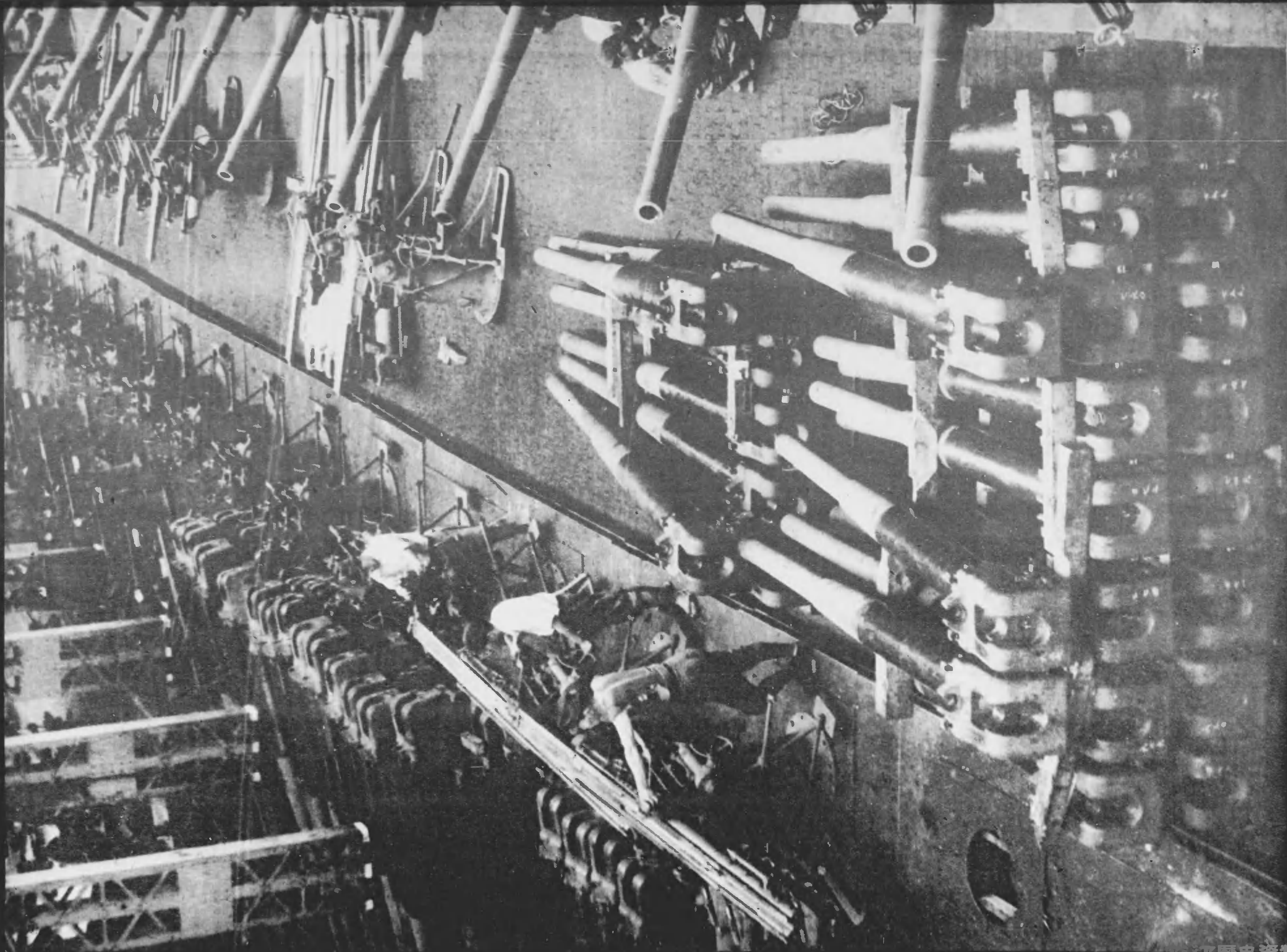
こんどこそ我が全力を發揮する時が
 来た。一發必中だ。きつとあいつらの頭
 上に情慾の弾丸をたしきこんでくれ
 くれくれくれ大人。殺陣所まで運ん
 であげてくれ大人。その人々の祈りと念
 願が、いそぎ一億の憤りが、僕の腕に

は湧つてゐる
 僕の先軍は狂然とひたつたやつらの
 業行機をにらみながら、ガタム、アッ
 フに倒れ、情慾に放つた。しかし後編
 部隊はまだくみろぞ、ぞくく續く
 ぞ。みんな戦線にはやる心を擧げてひ
 しめてゐるのだ

口 砲臺の陣列に次々と並立つてゆく砲射臺

一陸軍歩兵隊







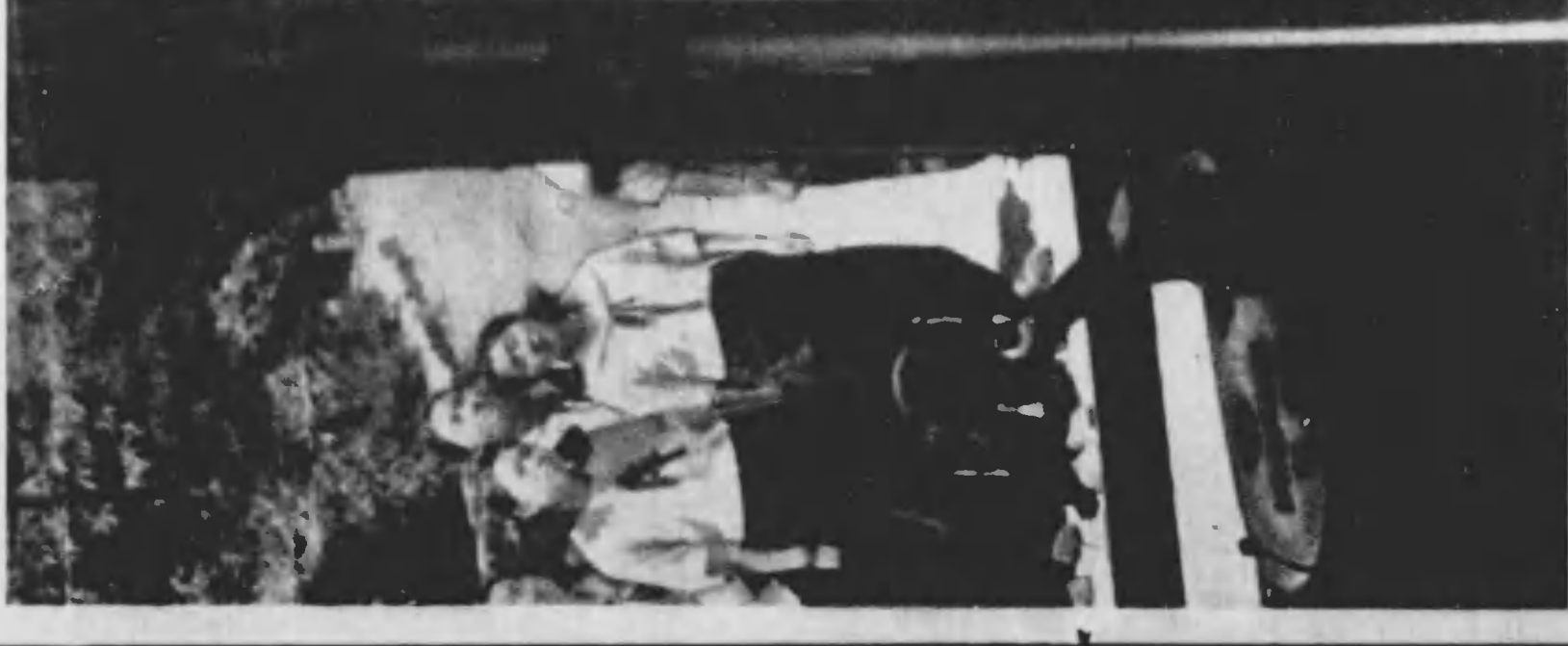
「早く乗入れられるように、準備をすつかりお返をしまさうとぞよ」と監督さん。この頃は鉄もつちもすつかりお返についてきた



鉄道輸送 女学生頑張る

名古屋市立第一高女

↑ 模型を指して、教習所の先生から
車内の説明をきく



「お父さんは名古屋駅前でございませう。チンチン。朝風の女学生車掌さんがすしづめの車内の人々に呼びかけておます。その若々しい聲に、いらぬがちな人々の心もなごみ、車内にはいつも明るい空気があふれておます。この女学生さんたちは名古屋市立第一高女三年生で組織する女子車掌さんです」

この四月以来、朝は早くから夕刻五時まで人ごみをぬぐって車内の整理にあつておたのですが、ほとんど全面的に車掌全部の仕事ができるようによそ十日間の教習所生活を経て、面目も新しく女学生車掌さんとして名古屋市の鉄道輸送に熱心しく参加したのです

「ウッ、そのコッ、そのコッ」と監督さんが得意げの切
替への真高調音。みんなの眼も大まじめ



「わたしたちの職場。きれいに片付け
したら、準備もかきりたし

「もう一人前の車掌さんです。乗客も
駅長も車掌さんもお心なしく



備くを更に強化せよ

北九州に豪雨を降らせたのは、わが國の防空隊に備えられて、生産力増進の目的を果さずして来た。我が方は見事、敵が誇る超空艇の襲撃に苦戦を耐え、損害も最小限度に抑へ止めた。だが、敵の空襲が常にある程度のものであるとは危険である。敵も今度の空襲を基礎にして、更に大規模な無差別空襲を企及して来ることは疑ふ餘地がない。

北九州の人々は既によく闘つた。昨年の訓練を十分に活かして、備へあれば、夏もよくこたへて、身を以て責任したのである。特に、暑さとして息を吐き、あがたうた訓練にたくさへん種されてゐる。

北九州の教訓



空襲を鎮上する上は、是非とも直行して行くべきである。

一、何時空襲になつてもよいやうに

まづ警報の態勢から空襲警報の態勢に迅速に移ることが大切である。警報態勢では、全人編制の後には空襲の教令をみるかもしれないし、また空襲警報と同時に空襲を受ける状態になるかもしれない。

そこでも警報態勢下においても、時局防務委員の警報態勢下の用意だけで満足することなく、空襲警報態勢及び空襲警報への移行に覚悟をもつこと、更に空襲には避難訓練（本誌五月三日増刊「九級空襲」）を十分に積んでおくことが必要である。特に夜間などは、その移行に相違の時間を要し、防務上とせよ、失敗を避ける、無事な移行をする、なほさらには、注意が必要である。空襲警報を受た後も、同時に警報態勢のまま、警報態勢のあることも豫想し、その準備に心を配ることが大切である。

それには特に就寝時の準備が大切である。

夜間や夜明けの空襲に備へるためには、深夜に自然の警報にも驚かず、慌てず、迅速に防務服を着、家の中の備物の整理、掃子、機、カラス戸、雨戸などの取外し、迅速待避機、機具、機材の取出しなどが、暗闇の中でも正しく的確に迅速に行はれるやう、準備する時々の防務準備しておくことが肝要である。疑心を持たれると、どうしてもあわてるから、使つてゐる火を消すのを忘れず、これをひっくり返して火事を出したり、待避所へゆく途中のかがづけが原因のため、物につまづいて怪我をしたり、とんだ失敗をしないやうにすることである。また警報の食事は準備しておかねばならない。

防空避難については、夏は男は上衣なし、女はスカート等の露装でもよいが、いざ警報態勢、或ひは空襲警報が出てもよいやう、上着、ゲートル、モンペ等の防務服装並びに防務用具を常時携帶するか、機材に備へておく、といふだけの準備が必要である。要するに何時空襲が来てもよいといふ物心両面の準備が望ましい。

われらは、この教訓を明日といはず、早速実践する。われらの備を強く防務訓練に苦しみ、訓練期間の防空強化に更に高さを期さうではないか。

今後の空襲

今度の北九州の空襲では第一に機雷二十機前後であつた。来るべき空襲において相対大編隊を以て来ることを覚悟せねばならない。

第二に空襲時刻は今夜以来の二時前から三時半頃までであつたやうに、夜間又は未明の空襲が多いであらうが、夜間もまた来る可能性があるのである。男子があつなくても機雷は守つておける自衛と備を整へておく必要がある。また「雨夜から今夜は安心だ」といふ人があつても、最近の飛行機の性能からすれば、現に機雷攻撃を受けるやうに空襲も行はれるわけであるから、文字通り空襲は何時でもあるといふことをはつきり頭にきざり込んでおかなければならない。

第三に、北九州の場合でも敵機はゆるやかな襲撃の態に出で、長時間に亘りわが上空を脅かしたものであるが、今後敵の空襲時間は長くと覚悟せねばならない。従つてその間、敵機襲撃中は待避所に入つて敵機の危険を避けると共に、敵機襲撃の際に備へた消防、救護に積極的活動をするといふ困難な防務活動をしなくてはならない。

第四に敵は今度は機雷ばかりを使ひ、工場、主要建築物等の破壊を狙つたからであるが、今後都市工場襲撃には、主として焼夷弾を使用し、これに準備を設けて投ずるのが常であるから、防務活動は二階四層な鉄骨の下に一段と強化せねばならないのである。

要するに北九州の空襲は非常に特殊なものである。従つて防空隊本部としても今までの防務指導について特に改良する必要があるが、我々が自覚を持って防務訓練に自信をつけて、今後の空襲に備へてもらへばよいのである。たい今度の訓練にもきま、きまの備は必勝防

避難訓練の光り及び火災

種類	警報管制地域別		警報管制	警報管制
	乙	中		
市路燈	減光	減光	消滅	消滅
街路燈	減光	減光	消滅	消滅
普通車輛	平常のまま	減光	消滅	消滅
消防車輛	平常のまま	減光	消滅	消滅
携帯燈	平常のまま	減光	消滅	消滅
待避所内	平常のまま	平常のまま	消滅	消滅

避難訓練の光り及び火災		出入りに注意
避難訓練の光り	避難訓練の火災	
避難訓練の光り	避難訓練の火災	出入りに注意
避難訓練の光り	避難訓練の火災	出入りに注意
避難訓練の光り	避難訓練の火災	出入りに注意
避難訓練の光り	避難訓練の火災	出入りに注意

避難訓練の光り及び火災	
避難訓練の光り	避難訓練の火災
避難訓練の光り	避難訓練の火災
避難訓練の光り	避難訓練の火災
避難訓練の光り	避難訓練の火災
避難訓練の光り	避難訓練の火災
避難訓練の光り	避難訓練の火災

注(イ)右の表中でカッコしたものは、警報管制地域を越えるので、二階以上を注意すること。例へば乙地域の十二層の時五〇層光と十層光をつける。
(ロ)空襲警報の時は完全に消滅するまで待てる。

二、煙火管制は徹底的に

敵は一寸一歩の煙火があつても、これに中絶を促し、その火災を煙としてその機雷を阻むのであるから、隣組同士、町内会同士は責任を持ち合つて、さういふ不幸を呼び寄せない。特に煙火管制の悪い土地などは、警報管制から空襲管制に移る時間をどうしても長くたつて思はぬ被害を受ける公算が大であるから、早く移換できるやう、もしそれが出来なければ警報管制時に空襲管制に近い措置をとつておく必要がある。

一般家庭の煙火管制用具もまた、不完全なものも多く、空襲警報のとき完全な煙火が出来ておつても室内で燃焼して外部に光を漏らしたり、煙の減少を怠つたりするやうなことがないやう注意を要する。夜間不在にする時は置間のうちからでも必ず電燈は消して外出することとし、緊急時はきびを得ないもの、ばかばかしいようにしない。

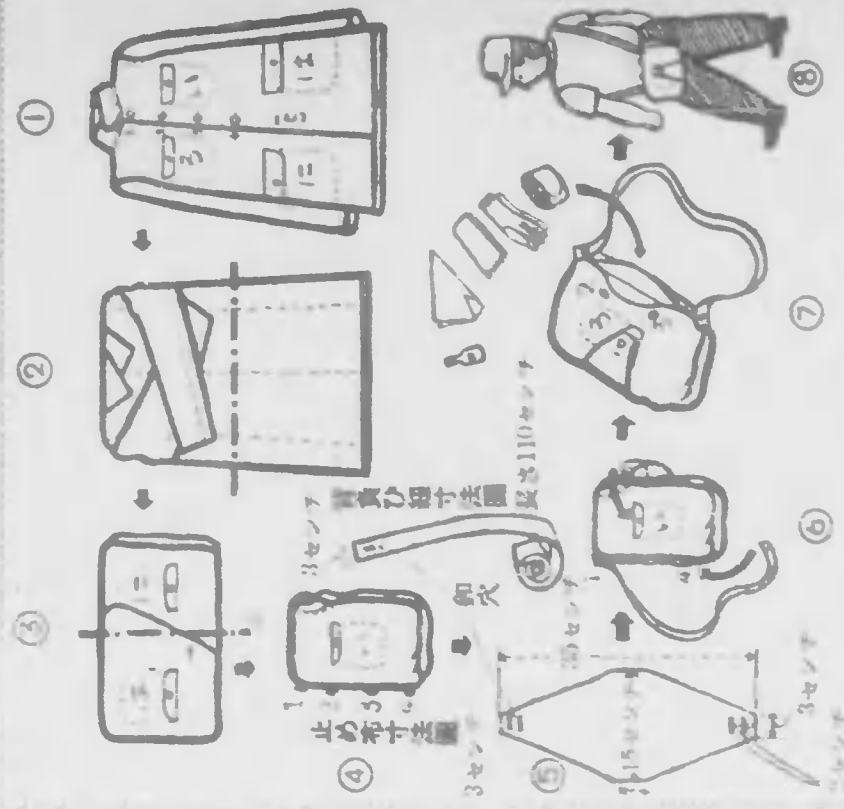
警報態勢下に懐中電燈、マッチ、煙草など、どうかといふことがよく問題になるが、東京のやうな大規模な襲撃では懐中電燈などは使つてもよいことになつてゐる。煙草、マッチの火はつけなければいけないが、さういふ場合の路上喫煙は慎みなければならぬ。

三、待避所を完全に

待避所は従来の指導の通りでよいのである。念のため、これを整理すると

屋外の待避所

国民服の型、作業衣利用



1. 上衣をきちんと捲大、胸入
2. 上衣をひつくり返し背の方を出し、襟先側へ畳み肩を重畳して胸の中央から上端へ折り直す
3. 羽子物の衣、胸入れは、襟先を出し、これを胸の中央から二つに折る
4. 羽子物の衣、胸入れは、襟先を出し、これを胸の中央から二つに折る
5. 羽子物の衣、胸入れは、襟先を出し、これを胸の中央から二つに折る
6. 羽子物の衣、胸入れは、襟先を出し、これを胸の中央から二つに折る

一、地下式を原則とする

(一) 地下式を原則とする。川上川下等の水質汚濁を防止し、土砂を相撃つ、けし、高射砲も遠くに向けられ、その破片もどろどろになるので、地盤はせむ必要である。地盤は、三寸角の木材を並べた上に、土砂を敷くのがよいが、これを出来た場合は軽機でもよい。これは川上川下の敷設部、出部部を敷くとか、敷設をせよと、厚い土砂を敷つて入れよ、といふ。

二、地下式が施れない場合は地上式でもよい

(二) 地下式が施れない場合は地上式でもよい。地下式は、土砂を敷くのがよいが、これを出来た場合は軽機でもよい。これは川上川下の敷設部、出部部を敷くとか、敷設をせよと、厚い土砂を敷つて入れよ、といふ。

三、待避所

(三) 待避所は土砂を相撃つ、けし、高射砲も遠くに向けられ、その破片もどろどろになるので、地盤はせむ必要である。地盤は、三寸角の木材を並べた上に、土砂を敷くのがよいが、これを出来た場合は軽機でもよい。これは川上川下の敷設部、出部部を敷くとか、敷設をせよと、厚い土砂を敷つて入れよ、といふ。

四、救出救護

(四) 救出救護。空襲警報が鳴つたら、事前に待避すべき者は、直ちに待避し、防空活動にある者は、いざ敵機を多量に撃つ、火を消して元一杯、敵を持つ精神が必要である。これには、防空小隊を中心として、警備隊、防衛隊、町内会、隣組まで一本となつて協力し合ひ、また防空準備の注意も合つて、敵機を元一杯に撃つことが肝要である。それにはやはり自信のついでから防空訓練を積んでおくことである。今までのやうに準備に遅延的なもの、形式の内面ものから、迅速な実践的準備に準備をせよ、空襲警報の発生時に待避する準備をし、準備は準備の如く、実践的準備は準備の如く、といふべきである。この境地に達し、如何なる空襲下にも対応できるように、冷静に必要な準備がとられるのである。

五、空襲警報下に断乎守り抜く士氣

(五) 断乎守り抜く士氣。空襲警報が鳴つたら、事前に待避すべき者は、直ちに待避し、防空活動にある者は、いざ敵機を多量に撃つ、火を消して元一杯、敵を持つ精神が必要である。これには、防空小隊を中心として、警備隊、防衛隊、町内会、隣組まで一本となつて協力し合ひ、また防空準備の注意も合つて、敵機を元一杯に撃つことが肝要である。それにはやはり自信のついでから防空訓練を積んでおくことである。今までのやうに準備に遅延的なもの、形式の内面ものから、迅速な実践的準備に準備をせよ、空襲警報の発生時に待避する準備をし、準備は準備の如く、実践的準備は準備の如く、といふべきである。この境地に達し、如何なる空襲下にも対応できるように、冷静に必要な準備がとられるのである。

涙

半徒出陣で「××航空隊」へ入隊したひとり息子... 涙

おふくろは... 涙

思はぬ費用

小泉 貞雄



その元氣

出陣 貞雄



準備をさく

出陣 貞雄

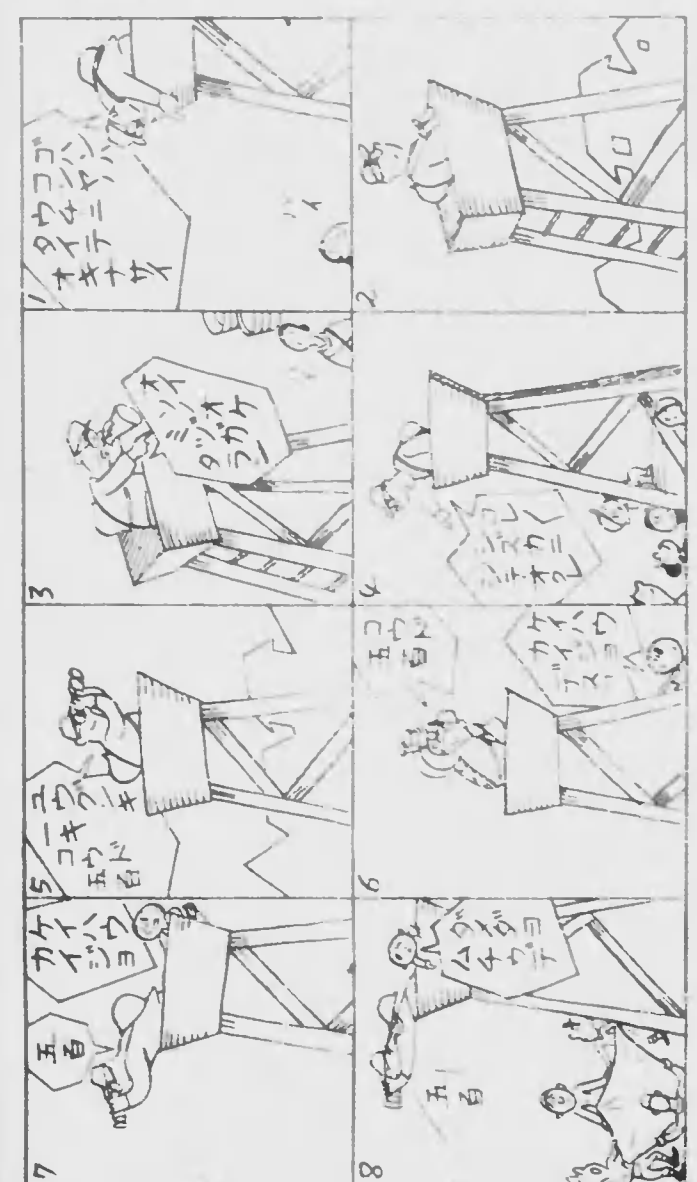
麦の堆肥をつくらう



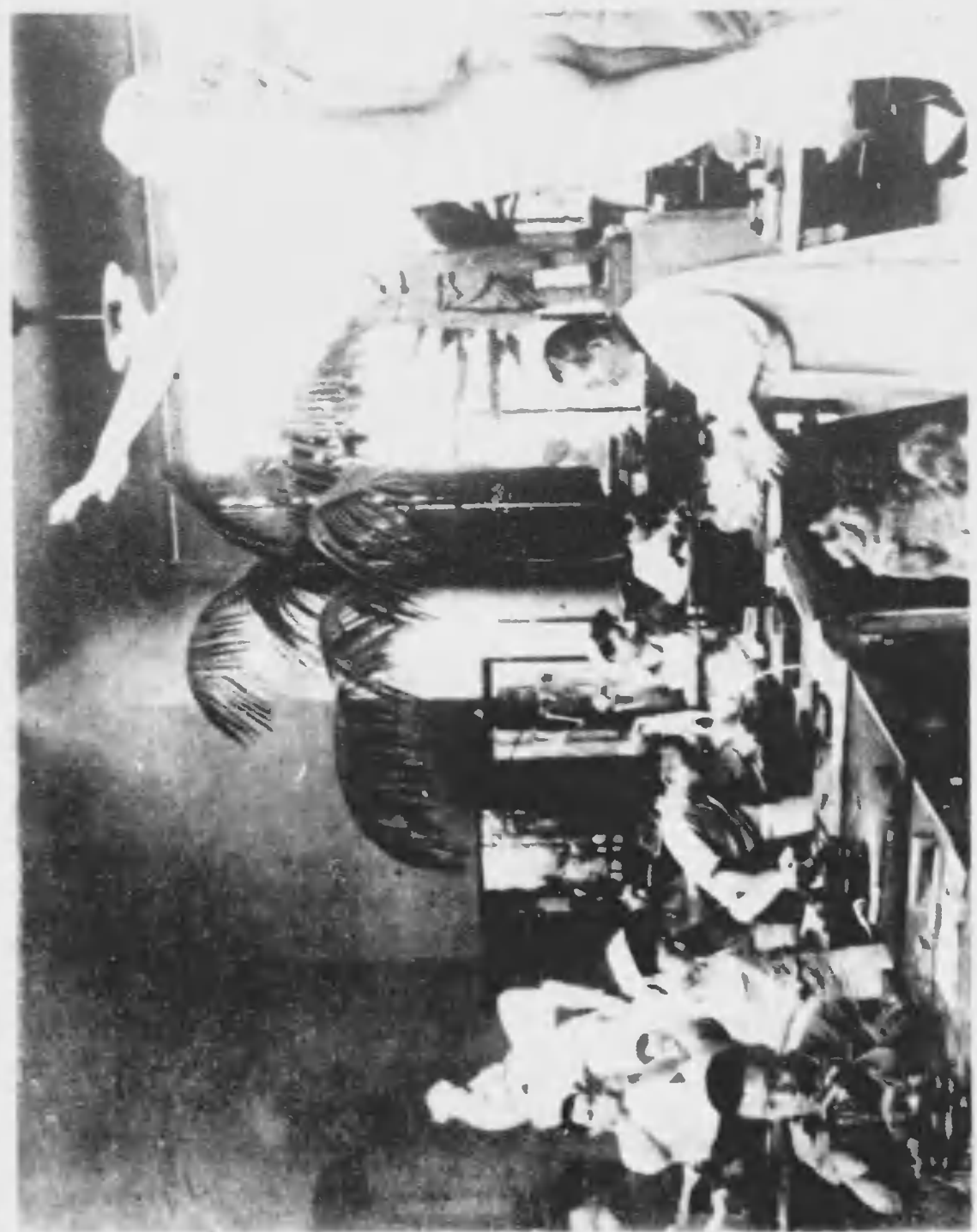
今年作付さんの大増産努力で、麦の大増産... 麦の堆肥をつくらう

政府では大政翼賛会・中央農産会と協力して... 麦の堆肥をつくらう

弾槍



弾槍... 弾槍



アトリエ工場

アトリエ工場... 美術工場の発展

百貨店の工場化

百貨店の工場化... 生産の効率化

